

《担当者名》福井純子 [sfukui@hoku-iryo-u.ac.jp]
内海智恵（非）

【概要】

既習の知識を基に、組織における看護管理上の課題とその解決に向けて必要となる理論やその活用について学修する。その上で課題を整理し、その解決に向けた方策について探求する。

【学修目標】

1. 現在の看護管理における課題について概観した上で、自組織の課題について比較して整理できる。
2. 組織運営および地域連携における看護管理者が担う役割について理解し、自組織における看護管理上の課題と解決に向けた方策を検討できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1) 2	組織変革に活用するナレッジマネジメント	ナレッジマネジメントの視点について理解し、自組織での看護管理の実践について考察する。	福井
3) 4	看護管理が目指す組織運営のあり様	「学習する組織」「心理的安全性」の考え方を理解し、看護管理者が目指す組織運営のあり様について検討する。	福井
5) 6	看護提供方式と組織運営	PNS、セル看護提供方式等を含めた既存の看護提供方式について概観し、組織運営への活用の可能性について探求する。	内海 福井
7) 8	医療・看護の可視化と質評価	医療・看護の可視化と質評価について考察し、自組織での取り組みの可能性について探求する。	福井
9) 10	高齢化社会における社会福祉の現状と看護管理	介護保険制度について理解するとともに、高齢化社会における在宅医療・福祉の現状について学び、自組織の果たす役割について考察する。	今野多美子 (特別講師) 福井
11) 12	チーム医療の推進における看護管理者の役割	チーム医療や多職種との協働に関する考え方について整理し、自組織における課題と取り組みについて探求する。	福井
13) 14	医療関係職種とのコミュニケーション	多職種との協働の前提となるコミュニケーションについて理解を深め、ネゴシエーション(交渉術)・コンフリクトマネジメントといった手法とその活用について探求する。	福井
15	看護師の継続教育における看護管理者の役割	看護師の継続教育に関する理論や現状を理解する。自組織における課題や取り組みを踏まえ、専門職としての看護職の育成について、看護管理者が果たす役割を探求する。	福井

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

【評価方法】

プレゼンテーション(30%)、ディスカッション(40%)、小レポート(30%)を通して総合的に評価する。

【教科書】

指定しない

【参考書】

金井壽宏（2004）．組織変革のビジョン，光文社新書．
大串正樹（2007）．ナレッジマネジメント．医学書院．
遠藤功（2014）．現場論：「非凡な現場」をつくる論理と実践．東洋経済新報社．
Peter M. Senge（2011）．学習する組織．英治出版．
Amy C. Edmondson（2021）．恐れのない組織．英治出版．
遠藤功（2005）．見える化．東洋経済新報社．
日本看護質評価改善機構（編）（2022）．看護ケアの質評価と改善．医学書院．
勝原裕美子（2013）．看護の「可視化」．日本看護管理学会誌，17（2），109-115．
細田満和子（2021）．「チーム医療」とは何か 第2版．日本看護協会出版会．
Stephen P. Robbins（2005）/高木晴夫（2009）．組織行動のマネジメント．ダイヤモンド社．
Lawrence Susskind（2015）．ハーバード×MIT流 世界最強の交渉術．ダイヤモンド社．
Benner．P（2005）．ベナー看護論 初心者から達人へ．医学書院．
厚生労働省（2014）．新人看護職員研修ガイドライン【改訂版】
日本看護協会（2016）．「看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）」活用のための手引き．
その他、ガイダンス時に提示する。

【備考】

ゼミナール形式で、文献購読及びプレゼンテーションとディスカッションを中心に授業をすすめる。

【学修の準備】

プレゼンテーションは、参考書及びテーマに関連する研究論文を用いて理論の理解を深める。その上で、自組織の現状や看護管理者としての自分自身の課題と照らし合わせてディスカッションポイントを明示すること。